

火山防災推進会議について

1. 目 的

昨今、日本の火山の活動が活発になっている。一部の活火山では、噴火警報等を発表し、立ち入り規制等の措置をとっているところである。一方、地域によっては、周辺観光施設での予約のキャンセルなど影響を及ぼしている。

このため、火山の監視・観測体制の強化、地元自治体との連携強化、火山のリスクと観光情報のわかりやすい発信等の火山防災の推進方策について検討することを目的とする。

2. 会議メンバー

座長 西村副大臣

座長代理 鈴木政務官

構成員 事務次官

技監

水管理・国土保全局長

水管理・国土保全局砂防部長

危機管理・運輸安全政策審議官

気象庁長官

観光庁長官

※ 構成部局の課長級からなる幹事会を設置

3. 検討事項

- ・火山の監視・観測体制について
- ・地元自治体との連携強化について
- ・火山のリスクと観光情報のわかりやすい発信について
- ・その他火山防災の推進方策について